

科目名	数学科 科目：数学 I	使用教材	教科書 数研出版 新編数学 I 副教材 チャート式数学 I A その他 授業用ノート、模試用ノート、補助プリント、課題張等
担当	具嶋 妙子	評価方法	定期考査、課題考査、小テストなど 学習活動の観察（発表態度・受講態度） 提出課題等（ノート・プリント・課題張等）の取組み状況
単位数	3年次：1単位必須 スーパー進学コース		

学習到達目標

- ◆個々の数学的なものの見方や考え方を尊重し、それらを筋道立てて表現する力を身につける。
- ◆場合の数と確率、論理と集合及び平面図形についての理解を深め、習得した知識や習熟した技能を的確に活用することができる。
- ◆数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を身につける。
- ◆適応力、好奇心、洞察力を十分に発揮し、複雑な公式や問題に創意工夫加えることでその理解を深めることができる。
- ◆常に攻めの姿勢で問題解決に取り組み、夢や目標に向けて意欲的に実践することができる。

★授業について

数学 I 演習、センター試験対策、2 次試験対策など定着度や進路に配慮し学習します。主に副教材、プリントを利用します。各自教材・プリント整理をしっかりとし、いつでも見直し復習できるようにしましょう。

おすすめ問題集・参考書

- ・「解法と演習 数学 I + A (黄チャート)」 『数研出版』
- ・「基礎からの 数学 I + A (青チャート)」 『数研出版』
- ・「数学 I A 標準問題精講」 『旺文社』
- ・「大学への数学 1対1対応の演習 数学 I」 『東京出版』
- ・「大学入試センター試験実践問題集」 『数研出版』

★評価方法について

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
授業における意欲・姿勢を評価します。様々な考え方に関心をもち、積極的に発問できているか。あらゆる角度から考察し、それらを活用しようと努めているか。	板書・ノート・プリントのとり方を評価します。文字に置き換えたり、具体的なものから導き出すなど、道筋を振り返って解いたり、さらに発展的に考えることができるか。	板書・ノート・プリント・発問内容を評価します。問題を数学的にとらえ、文字で表現し、あるいは図やグラフを書いて考えるなどの確な解決ができていないか。	定期考査・小テスト・課題テストを評価します。基本的な意味や原理、法則、用語、記号などを理解し、基本的知識を身につけているか。定着度と学習内容の深化がどの程度図られているか。

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

4月	第1週～		・各自面談を行い、学習の進め方について考える	◆目標設定・進路における意識をもち、個々で課題帳を作成する
5月	第5週 第6週	<u>代ゼミ第1回全国センター模試</u>	・プリントによる数学I演習を行う	◆進路実現のための計画を立て、継続することができる *躓いている仲間を支援することができる
6月	第7週 第8週～	<u>進研総合学力テスト(マーク)</u>	・目標設定し、模試を意識した取り組みができる。 ・センター試験、2次試験対策	*目標設定し、互いに高めあい自己を向上できる *結果をもとに個々の評価ができ、自分の夢や目標達成に向けて意欲的に実践することができる。
	第12週	<u>前期考査</u>		●個々の志望にあわせた対策徹底 *それぞれの進路目標達成を目指し、共に学ぶことに感謝することができる
7月	第13～	<u>進研総合学力テスト(マーク)</u>		◆学ぶ意義について、自らの考えをもち言葉で伝えることができる
9月	第16～	<u>ベネッセ駿台共催模試(マーク)</u>		*常に利己心と戦い、柔和で謙虚な心をもつことを追求し、課題解決に向かうことができる
10月	第19～	<u>ベネッセ駿台共催模試(記述)</u>		
	第22～	<u>代ゼミセンタープレテスト</u>		
11月	第29週	<u>大学入試センター試験</u>		
1月	第30週	<u>後期考査</u>		

科目名	数学科 科目：数学Ⅱ	使用教材	教科書 数研出版 新編数学Ⅱ 副教材 チャート式数学ⅡB その他 授業用ノート、模試用ノート、補助プリント、課題張等
担当	瀧本 龍一	評価方法	定期考査、課題考査、小テストなど 学習活動の観察（発表態度・受講態度） 提出課題等（ノート・プリント・課題張等）の取組み状況
単位数	3年次：3単位必須 スーパー進学コース		

学習到達目標

- ◆個々の数学的なものの見方や考え方を尊重し、それらを筋道立てて表現する力を身につける。
- ◆式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えについての理解を深め、習得した知識や習熟した技能を的確に活用することができる。
- ◆数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を身につける。
- ◆適応力、好奇心、洞察力を十分に発揮し、複雑な公式や問題に創意工夫加えることでその理解を深めることができる。
- ◆常に攻めの姿勢で問題解決に取り組み、夢や目標に向けて意欲的に実践することができる。

★授業について

それぞれ目標が変わってくるため授業への取り組み方も変化がでてくるでしょう。授業は一人ひとりの進路希望や習熟度を配慮し、問題等は難易度に変化をもたせて取り組んでいきます。それぞれの意見を授業に反映させるためには、生徒みなさんの声が大切です。自分の目標や課題をもって授業に臨みましょう。もちろん、これまで通りこまめな反復は授業の中でも各自意識して取り組みましょう。

模試が頻繁で、授業を進めていくことが大変な週も多くあると思いますが、自発的に質問へくるなど積極的な動きで自分の夢を追いかけてください。全力で応援します。

★自主学習について

自分に合った取組み方が定まっていない状態であれば、相談し考えましょう。

おすすめ問題集・参考書

- ・「数学ⅡB 標準問題精講」 『旺文社』
- ・「大学への数学 1対1対応の演習 数学Ⅱ」 『東京出版』
- ・「大学入試センター試験実践問題集」 『数研出版』

★評価方法について

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
授業における意欲・姿勢を評価します。 様々な考え方に興味をもち、積極的に発問できているか。あらゆる角度から考察し、それらを活用しようとしているか。	板書・ノート・プリントのとり方を評価します。 文字に置き換えたり、具体的なものから導き出すなど、道筋を振り返って解いたり、さらに発展的に考えることができるか。	板書・ノート・プリント・発問内容を評価します。 問題を数学的にとらえ、文字で表現し、あるいは図やグラフを書いて考えるなどの確な解決ができているか。	定期考査・小テスト・課題テストを評価します。 基本的な意味や原理、法則、用語、記号などを理解し、基本的知識を身につけているか。定着度と学習内容の深化がどの程度図られているか。

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4月	第1週	第6章 微分方と積分法		◆目標設定・進路における意識もち、個々で課題帳を作成する
	第2週	1. 微分係数と導関数	・導関数が表す種々の記号を理解し、それらを適切に利用できる	◆進路実現のための計画を立て、継続することができる
5月	第3週	①微分係数		●極限
	第4週	②導関数とその計算 ③接線の方程式	・曲線外の点から曲線を引いた接線の方程式を求めることができる	●微分係数と接線の関係 ◆グラフの変化の様子を局所的に調べることができる
	第5週	<u>代ゼミ第1回全国センター模試</u>	・目標設定し、模試を意識した取り組みができる。	*躓いている仲間を支援することができる
	第6週			●接線の方程式の公式
6月	第7週	2. 関数の値の変化 ①関数の増減と極大・極小 <u>進研総合学力テスト（マーク）</u>	・導関数を利用して関数の増減や極値を求め、グラフを書くことができる	*目標設定し、互いに高めあい自己を向上できる *結果をもとに個々の評価ができ、自分の夢や目標達成に向けて意欲的に実践することができる。
	第8週	②関数の増減・グラフ	・条件を満たす関数を不定積分を利用して求めることができる	●最大・最小、極大・極小の違い
	第9週	3. 積分法 ①不定積分	・直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表し、求めることができる	●実数解の個数と共有点の個数
	第10週	②定積分		*グラフとの関係を数学的にとらえ、的確な課題解決に向かうことができる
	第11週	③図形の面積と定積分	・数学Ⅱ演習	●不定積分の定義・性質
	第12週	<u>前期考査</u>	・センター試験、2次試験対策	◆面積を求めるとき、グラフの上下関係、積分範囲などを図に書いて考察できる
7月	第13～	<u>進研総合学力テスト（マーク）</u>		●個々の志望にあわせた対策徹底 *それぞれの進路目標達成を目指し、共に学べることに感謝することができる
9月	第16～	<u>ベネッセ駿台共催模試（マーク）</u>		
10月	第19～	<u>ベネッセ駿台共催模試（記述）</u>		◆学ぶ意義について、自らの考えをもち言葉で伝えることができる
11月	第22～	<u>代ゼミセンタープレテスト</u>		*常に利己心と戦い、柔和で謙虚な心をもつことを追求し、課題解決に向かうことができる
1月	第29週	<u>大学入試センター試験</u>		
	第30週	<u>後期考査</u>		

科目名	数学科 科目：数学 A	使用教材	教科書 数研出版 新編数学A 改訂版 その他 授業用ノート、補助プリント等
担当	具嶋妙子 瀧本龍 —	評価方法	定期考査、課題考査、小テストなど 学習活動の観察（発表態度・受講態度） 提出課題等（ノート・プリント等）の取組み状況
単位数	3年次：2単位必須 情報ビジネス・工業コース		

学習到達目標

- ◆高校数学に必要な計算や知識を復習し、数学的な処理能力や創造性の基礎を培う。
- ◆個々の数学的なものの見方や考え方を尊重し、それらを筋道立てて表現する力を身につける。
- ◆場合の数と確率、論理と集合及び平面図形についての理解を深め、習得した知識や習熟した技能を的確に活用することができる。
- ◆数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を身につける。

★授業について

それぞれ目標が変わってくるため授業への取り組み方も変化がでてくるでしょう。授業は進路希望や習熟度を配慮し、問題等は難易度に変化をもたせて取り組んでいきます。それぞれの意見を授業に反映させるためには、生徒みなさんの声が大切です。自分の目標や課題をもって授業に臨み、個々で話もしていきましょう。もちろん、これまで通りこまめな復習は授業の中で意識して取り組みましょう。

自発的に質問へくるなど積極的な動きで自分の夢を追いかけてください。全力で応援します。

★自主学習について

予習、復習

各自進路や習熟度にあった問題集を1冊でいいので、何度も反復し適切な解法を身につけましょう。分からない場合はいつでも相談にのります。

★評価方法について

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
授業における意欲・姿勢を評価します。様々な考え方に関心をもち、積極的に発問できているか。あらゆる角度から考察し、それらを活用しようと努めているか。	板書・ノート・プリントのとり方を評価します。文字に置き換えたり、具体的なものから導き出すなど、道筋を振り返って解いたり、さらに発展的に考えることができるか。	板書・ノート・プリント・発問内容を評価します。問題を数学的にとらえ、文字で表現し、あるいは図やグラフを書いて考えるなどの確な解決ができているか。	定期考査・小テスト・課題テストを評価します。基本的な意味や原理、法則、用語、記号などを理解し、基本的知識を身につけているか。定着度と学習内容の深化がどの程度図られているか。

★学習方法について

数学Aは内容的にはあまり多くはないのですが、ひとつひとつの分野が理解しづらい教科でもあります。理解できていないまま進むととんでもないことになるので理解できない場所はすぐ質問しましょう。問題も多くのパターンが存在するため教科書以外の問題も多く解いておく必要があります。苦手分野になりがちですが反復練習をしっかりとやってがんばっていきましょう。

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
---	-----	----	----	-------

4	1	中学校の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の基本事項を理解する ・ 共通部分、和集合、空集合、補集合について理解し、ベン図などを用いて求められる ・ 和の法則、積の法則を使い分けて場合の数を求められる ・ 順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる ・ 順列と組合せの違いを理解し具体的な問題に対して、組合せを利用できる ・ 二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求められる ・ 確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる ・ 加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を求められる ・ 命題の逆・裏・対偶の定義と意味を理解し、それらの真偽を判断できる ・ 三角形の角の二等分線に関する性質を理解し利用できる ・ 円についての基本的な性質を理解し円周角の定理などを利用できる ・ 円に内接する四角形の性質を理解し角度を求め、さらに証明ができる ・ 2つの円の位置関係、共通接線について理解し、中心間の距離と半径の関係について求められる 	<p>◆学習の姿勢、復習と予習の習慣について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの集合の理解 ●ベン図を用いた表し方 ●Pの公式の利用 ◆利用できる問題を判断する ●円順列、重複順列 ◆円順列、重複順列が適用できるかを見極め、それらの公式を利用しようとする *積極性・適応力の伸長 ◆考査に取り組む姿勢 *目標設定し、互いに高めあい自己を向上できる ●Cの公式の利用 ●二項定理とパスカルの定理 ◆Pと使い分けをしておく ●事象とは ●確率の基本性質 ●和事象、排反事象、余事象 ●期待値の理解と利用 ◆教科書以外の問題にふれる ●必要条件、十分条件 ●命題の逆、裏、対偶 ●二等分線に関する性質の理解 ●三角形の外心、内心、重心の性質 ◆三角形の性質を理解しておく ●メネラウスとチェバの定理 ●円周角の定理 ●外接円、内接円の条件 ●円の接線の性質と角度 ◆方べきの定理を利用できる ●二つの円の位置関係 *考査結果をもとにした自己評価ができる。反省を通して、生活や学習習慣を振り返り、自分にとって大切な生き方を考える
5	2			
5	3	集合の要素の個数		
	4			
	5			
	6	場合の数		
6	7	順列		
	8			
	9			
	10	円順列・重複順列		
7	11			
	12	前期考査		
	13	組合せ		
9	14			
	15	二項定理		
	16	事象と確率		
	17	確率の基本性質		
10	18, 19	独立な試行の確率		
	20, 21	反復試行の確率		
11	22, 23	期待値		
	24	命題と条件		
12	25	逆・裏・対偶		
	26			
	27	三角形の辺の比		
1	28	三角形の外心、内心、重心		
	29	三角形の辺と角		
	30	円周角		
2	31	円に内接する四角形		
	32	円と直線		
	33	方べきの定理		
		2つの円の位置関係		
	34			
3	35	後期考査		

科目名	数学科 科目：数学B	使用教材	教科書 数研出版 新編数学B その他 授業用ノート、補助プリント等
担当	具嶋妙子 瀧本龍 —		
単位数	3年次：2単位必須 情報ビジネス・工学コース	評価方法	定期考査、課題考査、小テストなど 学習活動の観察（発表態度・受講態度） 提出課題等（ノート・プリント等）の取組み状況

学習到達目標

- ◆数列，ベクトル，統計又は数値計算について理解させ，基礎的な知識の習得した知識や習熟した技能を的確に活用することができる。
- ◆事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を身につける。
- ◆自力で解決しようとする力を培うとともに，予習・復習の習慣を定着することができる。

★授業について

数学B演習、大学受験対策、就職試験対策など定着度や進路に配慮し学習します。主に副教材、プリントを利用します。各自教材・プリント整理をしっかりとし、いつでも見直し復習できるようにしましょう。

おすすめ問題集・参考書

- ・「解法と演習 数学Ⅱ+B（黄チャート）」 『数研出版』
- ・「数学ⅡB 標準問題精講」 『旺文社』

★評価方法について

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
授業における意欲・姿勢を評価します。 様々な考え方に関心をもち、積極的に発問できているか。あらゆる角度から考察し、それらを活用しようと努めているか。	板書・ノート・プリントのとり方を評価します。 文字に置き換えたり、具体的なものから導き出すなど、道筋を振り返って解いたり、さらに発展的に考えることができるか。	板書・ノート・プリント・発問内容を評価します。 問題を数学的にとらえ、文字で表現し、あるいは図やグラフを書いて考えるなどの確な解決ができていくか。	定期考査・小テスト・課題テストを評価します。 基本的な意味や原理、法則、用語、記号などを理解し、基本的知識を身につけているか。定着度と学習内容の深化がどの程度図られているか。

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	1	平面上のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの向き, 大きさについて理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習の姿勢、復習予習についての学習 ● ベクトルとは
	2	ベクトルの演算	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの演算法則ができる。 	
	3	ベクトルの成分と演算	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルと座標平面を関連させ、ベクトルを成分で表現できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● ベクトルの演算方法 ● ベクトルと座標平面
	4	ベクトルの内積	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの内積の性質を理解し計算できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 内積の理解と利用
5	5	前期考査		<ul style="list-style-type: none"> *目標を設定し、互いに高めあい自己を向上できる
	6	位置ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 線分の内分点, 外分点を位置ベクトルで表す公式を理解し利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● ベクトルの内分と外分
	7			<ul style="list-style-type: none"> ◆仲間と教えあい、互いに予習・復習の確認をし、競いあうことができる
	8	ベクトルと図形	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質をベクトルで表現して扱うことができる 	
6	9		<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の存在範囲を表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 図形とベクトル
	10		<ul style="list-style-type: none"> 直線のベクトル方程式を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点の存在範囲
	11	ベクトル方程式		
7	12			
	13	空間の基本的図形と座標	<ul style="list-style-type: none"> 空間において2直線, 直線と平面の位置関係を理解している 座標空間において, 点の座標, 2点間の距離が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 直線とベクトル方程式 ● 空間図形におけるベクトル
9	14	空間のベクトルの成分	<ul style="list-style-type: none"> 成分表示されたベクトルの大きさ, 和, 差, 実数倍の計算ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空間ベクトルの座標と計算
	15			
	16	ベクトルの内積	<ul style="list-style-type: none"> 大きさとなす角, 成分表示の各場合について, ベクトルの内積を計算できる 	<ul style="list-style-type: none"> *最後まで諦めず解法の特徴やその使い方考える
10	17	位置ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの諸性質が平面の場合と同じであることを理解し, それらを利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空間ベクトルにおける内積と計算
	18	座標空間における図形	<ul style="list-style-type: none"> 座標空間における線分の内分点・外分点の座標が求められる 	
	19			
	20			
11	21	等差数列とその和	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列の公差, 一般項を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空間ベクトルにおける内分点と外分点
	22			
	23		<ul style="list-style-type: none"> 等差数列の和の公式を利用して, 等差数列の和が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 等差数列の一般項

12	24	等比数列とその和	<ul style="list-style-type: none"> 等比数列の公比，一般項を理解している 等比数列の和の公式を，利用して数列の和が求められる 階差数列を利用して，一般項が求められる 和の記号Σの意味を理解し，数列の和が求められる 群数列を理解し，群の中の和などが求められる 漸化式の意味を理解し，具体的に項の値が求められる おき換えを利用して，漸化式から一般項が求められる 隣接2項間の漸化式が求められる 数学的帰納法を利用して，いろいろな問いを証明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 等差数列の和の公式と利用 ● 等比数列の一般項 ● 等比数列の和の公式と利用 ◆公式暗記の徹底 ● 階差数列の一般項 ● 和の公式Σの利用 ● 群数列の理解と応用 ● 漸化式の理解 ● 漸化式隣接二項間 ● 数学的帰納法における証明 ◆ 考査に取り組む姿勢 <p>*課題、目標をもち、意欲的に実践できる</p>	
	25				
	26				
	27	種々の数列			
	28				
	29				
	1	30			漸化式と数列
	31				
	32				
	2	33			数学的帰納法
	34				
	35	後期考査			

科目名	数学科 科目：数学 B	使用教材	教科書 数研出版 新編数学 B 副教材 チャート式数学 II B その他 授業用ノート、模試用ノート、補助プリント、課題張等
担当	具嶋 妙子	評価方法	定期考査、課題考査、小テストなど 学習活動の観察（発表態度・受講態度） 提出課題等（ノート・プリント・課題張等）の取組み状況
単位数	3年次：2単位必須 スーパー進学コース		

学習到達目標

- ◆個々の数学的なものの見方や考え方を尊重し、それらを筋道立てて表現する力を身につける。
- ◆数列、ベクトルの考えについての理解を深め、習得した知識や習熟した技能を的確に活用することができる。
- ◆数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を身につける。
- ◆適応力、好奇心、洞察力を十分に発揮し、複雑な公式や問題に創意工夫加えることでその理解を深めることができる。
- ◆常に攻めの姿勢で問題解決に取り組み、夢や目標に向けて意欲的に実践することができる。

★授業について

数学 B 演習、センター試験対策、2次試験対策など定着度や進路に配慮し学習します。主に副教材、プリントを利用します。各自教材・プリント整理をしっかりとし、いつでも見直し復習できるようにしましょう。

おすすめ問題集・参考書

- ・「解法と演習 数学 II + B (黄チャート)」 『数研出版』
- ・「基礎からの 数学 II + B (青チャート)」 『数研出版』
- ・「数学 II B 標準問題精講」 『旺文社』
- ・「大学への数学 1対1対応の演習 数学 B」 『東京出版』
- ・「大学入試センター試験実践問題集」 『数研出版』

★評価方法について

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
授業における意欲・姿勢を評価します。様々な考え方に関心をもち、積極的に発問できているか。あらゆる角度から考察し、それらを活用しようと努めているか。	板書・ノート・プリントのとり方を評価します。文字に置き換えたり、具体的なものから導き出すなど、道筋を振り返って解いたり、さらに発展的に考えることができるか。	板書・ノート・プリント・発問内容を評価します。問題を数学的にとらえ、文字で表現し、あるいは図やグラフを書いて考えるなどの確な解決ができていないか。	定期考査・小テスト・課題テストを評価します。基本的な意味や原理、法則、用語、記号などを理解し、基本的知識を身につけているか。定着度と学習内容の深化がどの程度図られているか。

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

4月	第1週～		・各自面談を行い、学習の進め方について考える	◆目標設定・進路における意識をもち、個々で課題帳を作成する
5月	第5週 第6週	<u>代ゼミ第1回全国センター模試</u>	・プリントによる数学B演習を行う	◆進路実現のための計画を立て、継続することができる
6月	第7週 第8週～	<u>進研総合学力テスト（マーク）</u>	・目標設定し、模試を意識した取り組みができる。	*躓いている仲間を支援することができる
	第12週	<u>前期考査</u>	・センター試験、2次試験対策	*目標設定し、互いに高めあい自己を向上できる
7月	第13～	<u>進研総合学力テスト（マーク）</u>		*結果をもとに個々の評価ができ、自分の夢や目標達成に向けて意欲的に実践することができる。
9月	第16～	<u>ベネッセ駿台共催模試（マーク）</u>		●個々の志望にあわせた対策徹底
10月	第19～ 第22～	<u>ベネッセ駿台共催模試（記述）</u> <u>代ゼミセンタープレテスト</u>		*それぞれの進路目標達成を目指し、共に学ぶことに感謝することができる
11月	第29週	<u>大学入試センター試験</u>		◆学ぶ意義について、自らの考えをもち言葉で伝えることができる
1月	第30週	<u>後期考査</u>		*常に利己心と戦い、柔和で謙虚な心をもつことを追求し、課題解決に向かうことができる